

語りの分析と学習デザイン

指導者 松本 修 教授

三班

225603H 東 一也 225606A 井口 浩

225607L 石井 麻美 225620H 小澤 愛実

225633K 田中 博徳 225635F 豊本 英嗣

225653C 磯部 仁 225657G 佐藤 喜広

▪はじめに

発表の流れ

- 語りの分析の手順説明
- 語りの分析の演習
- 語りの分析、読みの交流の説明
- 学習指導要領から見た語りの分析と読みの交流
- 参考文献

例文

47「こらっ、まねするな」

48トッコが手をふり上げると、男の子は、「こらっ、まねするな」と言って、にげました。

49「まねすると、ぶつわよ。」

50「まねすると、ぶつわよ。」

51男の子は、わらいながら、つり橋をトントンかけていきました。

例：語り手の視点

47「こらっ、まねするな」

48 トッコが手をふり上げると、男の子は、「こらっ、まねするな」と言って、にげました。

49「まねすると、ぶつわよ。」

50「まねすると、ぶつわよ。」

51 男の子は、わらいながら、つり橋をトントンかけていきました。

「トッコ」「男の子」という三人称の言い方をしている

例：トッコの視点

47「こらっ、まねするな」

48トッコが手をふり上げると、男の子は、「こらっ、まねするな」と言って、にげました。

49「まねすると、ぶつわよ。」

50「まねすると、ぶつわよ。」

51 男の子は、わらいながら、つり橋をトントン
かけていきました。

「わらいながらトントンかけていきました」など
トッコの視点から語っている

例：トッコと語り手二つの視点

47「こらっ、まねするな」

48 トッコが手をふり上げると、男の子は、「こらっ、まねするな」と言って、にげました。

49「まねすると、ぶつわよ。」

50「まねすると、ぶつわよ。」

51 男の子は、わらいながら、つり橋をトントン
かけていきました。

「トッコが手をふりあげると」第三者からの視点

「わらいながら～」 トッコ視点の語り

実際に語りの分析をやってみましょう！

- 39 すると、「おーい、山びこーっ。」という声が、いくつもいくつも返ってきました。
- 40 それがだんだん大きくなってきたかと思うと、とつぜん、どっと風がふいて、木の葉をトッコにふきつけました。
- 41 トッコはびっくりして、思わず目をつむりました。
- 42 そして、こわごわ目を開けると、そばにかすりの着物を着た男の子が立っていたのです。
- 43 「あら、あんた、いつ来たの。」
- 44 と、トッコがきくと、男の子は、「あら、あんた、いつ来たの。」と言って、にっこりしました。

語り手視点での読み

41 トッコはびっくりして、思わず目をつむりました。

42 そして、こわごわ目を開けると、そばにかすりの着物を着た男の子が立っていたのです。

「トッコは」という三人称、「そして」という口語的ではない言い方によって語り手視点での読みができる。

トッコ視点での読み

- 41 トッコはびっくりして、思わず目をつむりました。
- 42 そして、こわごわ目を開けると、そばにかすりの着物を着た男の子が立っていたのです。

トッコの視点で話が進んでいる。

語りの分析と読みの交流

語りの分析・読みの交流をすることで

児童、生徒は

- ・読みは、一つだけではなく**多様性**があること
- ・その中で自分自身の読み方はどの様な読み方なのかを**メタ認知**することができる。

教師は、交流をするにあたって

- ・**多角的な読み方**に気付き、確立していなければならない

- 学習指導要領から見た
語りの分析と読みの交流

小学校学習指導要領解説 国語編 (平成20年8月)

第1章 総説

3 国語科改訂の要点

(1) 目標及び内容の構成

① 目標

国語科の最も基本的な目標である国語による表現力と理解力を育成するとともに、人間と人間の関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら言葉で「伝え合う力」を高めることを位置付けている。

(2) 学習過程の明確化

「読むこと」では、音読や解釈、自分の考えの形成及び交流、目的に応じた読書という学習過程を示している。

第2章 国語科の目標及び内容

2 各領域及び[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]の内容

(3)「C読むこと」

「読むこと」の指導事項

現行学習指導要領(平成11年5月)から

- ア 読書的な読むことに関する指導事項
- イ 叙述内容に即した読むことに関する指導事項
- ウ 想像的な読むことに関する指導事項
- エ 事象と感想、意見にかかわる読むことに関する指導事項
- オ 目的的な読むことに関する指導事項
- カ 声に出しての読むことに関する指導事項

新学習指導要領(平成20年8月)から

- 音読に関する指導事項
- 効果的な読み方に関する指導事項
- 説明的な文章の解釈に関する指導事項
- 文学的な文章の解釈に関する指導事項
- **自分の考えの形成及び交流に関する指導事項**
- 目的に応じた読書に関する指導事項

各学年における「C読むこと」の指導事項

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
自分の考えの形成及び交流に関する指導事項	<p>エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。</p> <p>オ <u>文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。</u></p>	<p>エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。</p> <p>オ <u>文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。</u></p>	<p>オ <u>本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。</u></p>

現行の指導計画

- 1 人物の気持ちや場面の様子を想像しながら読む。
- 2 トッコがサブと友達になれた過程を読み取る
 - ・ぎゅっとくちびるをかみしめて揺れるつりばしを見るトッコの様子や心情を読み取る。
 - ・べっかんこして見せるトッコの様子や心情を読み取る。
 - ・男の子に会ったトッコの様子や心情を読み取る。
 - ・知らぬ間につりばしをわたっていたトッコの様子や心情を読み取る。
- 3 自分の読み取りを整理して書き、読み合う。
(トッコへの手紙)

トッコの視点からの読み、
トッコがサブと友達になる話としての読み を促す

現行の指導計画

- 1 人物の気持ちや場面の様子を想像しながら読む。
- 2 トッコがサブと友達になれた過程を読み取る
 - ・ぎゅっとくちびるをかみしめて揺れるつりばしを見るトッコの様子や心情を読み取る。
 - ・べっかんこして見せるトッコの様子や心情を読み取る。
 - ・男の子に会ったトッコの様子や心情を読み取る。
 - ・知らぬ間につりばしをわたっていたトッコの様子や心情を読み取る。
- 3 自分の読み取りを整理して書き、読み合う。

(トッコへの手紙)

教師は・・・

トッコの様子や心情を叙述に即して読んでいるか
トッコの心情の変化を読み取っているか を
見る

語りの分析、読みの交流を取り入れた指導計画

1 全文音読

感想や気付いたことを書く

最後に一文を入れる

2 語りの分析

3 読みの交流

4 再度最後に一文を入れる

読みを交流し、多様な
読みがあることに気づ
かせる

「語りの分析と読みの交流」を取り入れた指導計画

- 1 全文音読
感想や気付いたことを書く
最後に一文を入れる
- 2 語りの分析
- 3 読みの交流
- 4 再度最後に一文を入れる

教師は…

他者の読みとどうかかわり、読みがどう変わったか、または変わらなかったか
を見る

参考文献

- 『みんなと学ぶ 小学校国語3年上』(学校図書)
- 『小学校学習指導要領解説 国語編(平成20年8月)』(文部科学省)
- 『小学校学習指導要領解説 国語編(平成11年5月)』(文部科学省)
- 『平成17年度「みんなと学ぶ」小学校国語 評価資料 3年』(学校図書)
- 松本修『文学の読みと交流のナラトロジー』 2006(東洋館出版)
- 『グループ・ブリコラージュ紀要』No.26 2008 松本修「『白いぼうし』の語りと主題」